

科目区分	専門分野	授業科目	基礎看護学実習 I
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数 (時間)	1 単位 (45 時間)	開講年次	1 年次 第 1・2 学期
<p>目的：対象と対象の療養環境を理解し、対象のニーズに応じた日常生活援助を学ぶ</p> <p>目標：基礎看護学実習 1-①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の生活と療養環境を理解できる 2. 看護場面の見学を通し、対象と看護師の関係について理解できる 3. 対象を尊重した態度で関わる姿勢が理解できる <p>目標：基礎看護学実習 1-②</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の日常生活を知り、満たされていないニーズについて述べることができる 2. 対象のニーズに応じた日常生活援助を実施することができる 3. 看護者として必要な態度を養うことができる 			
授 業 内 容			
<p>基礎看護学実習 1-① (15 時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の生活と療養環境の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象の療養環境を理解 2) 入院による生活の変化の理解 2. 看護場面の見学を通し、対象と看護師の関係についての理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象とのコミュニケーション 2) 看護場面 (環境調整・日常生活援助) の実際 3. 対象を尊重した態度で関わる姿勢の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象を尊重する姿勢の理解 2) 情報の管理 <p>基礎看護学実習 1-② (30 時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の日常生活を知り、満たされていないニーズについて述べるができる <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象の日常生活に関する情報を収集することができる 2) 療養生活による環境の変化が対象に及ぼす変化について理解できる 3) 対象のニーズを及ぼす健康障害及び精神的・社会的側面に関する情報を収集することができる。 4) 対象者のニーズを踏まえ必要な日常生活援助を判断し計画立案できる 2. 対象のニーズに応じた日常生活援助を実施することができる <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象ニーズに応じた日常生活援助を指導者と共に実施することができる 2) 対象へ提供するために必要な環境調整を行うことができる 3) 実施した日常生活援助を評価できる 3. 看護者として必要な態度 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象を尊重する態度 2) 適切な時期に報告・連絡・相談ができる 3) 看護に関する探究心や関心を持ち主体的な学習ができる 4) 看護専門職業人としての態度を身につける 5) 対象の個人情報の保護ができる 6) 自己の看護観を明確にできる。 			
授業方法	臨地実習		
評価方法	以下の内容を実習評価表 (100 点) に沿って評価を行う 対象理解・看護実践・実習態度・出席状況・実習記録		
備考	<p>関連科目で用いたテキストを活用する。実習要項で提示された事前学習をする。</p> <p>関連科目：人体形態機能学 I・II・III・IV、看護学概論、生活援助技術 I・II・III・IV、総合看護技術演習 I</p>		